

茶柱 その150

掛川お茶大使 & 日本茶インストラクター

吉岡亜衣加のお茶の間通信



お茶摘みの後は手揉みを体験
思い出いっぱいのお茶ができました♪



ホットプレートと画用紙を使って
製茶体験をしました。



前回は、きらきら保育園の皆さんと東山地区のお茶畑でお茶摘みをしたご報告をさせて頂いていただきましたが、翌日にホットプレートを使って製茶体験をするということで、私も一緒にさせていただきました。

電子レンジで蒸された状態にした茶葉を、それぞれ画用紙に貼り付けるようなイメージで、ぎゅっぎゅっともんで形を整え

ていきます。それを今度はホットプレートで丁寧に水分を飛ばし、形を整えていくというのを繰り返していきます。

先生からの「細長いへビの形にしてみよう」というリクエストで、一生懸命に手揉みをしていると「紙が緑になってきた」「僕の手がお茶の色になってるよ」とお茶の色が移っているのを見せられたり、水分を飛ばして形を整える作業が繰り返されていくうちに「なんかチクチクしてきた」「お茶が少なくなってきた」という声も聞こえてきました。どんどん茶葉が細くよられていき、元の茶葉と比べると大きさや形が全然違うことにも驚きの様子でした。

最後に先生方が、ホットプレートで焦がさないように丁寧に水分を飛ばし、製茶が



製茶したてのお茶は、新茶のさわやかさとうまを感じました。

お茶を通じてすてきな時間を過ごすことができました♪



終わりました。
私も製茶したてのお茶を早速淹れていた
だき、新茶のさわやかさとうまみにほっこ
り。園児の皆さんとの思い出もあり、より
一層特別なお茶に感じられました。皆さん
もお茶を飲むと「はあ〜」とリラックスの
ため息が漏れ「おいしい」と出来たてのお
茶をじっくりと味わっていたのが印象的
でした。
お茶畑でお茶摘みをするところから、製
茶までの一連の流れを実際に体験すること
で、掛川茶がより身近になったことと思
います。私もお茶を通じて皆さんと温かく
すてきな時間を過ごすことができました。あ
りがとうございました。